



大湊小だより

上越市立大湊町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和5年11月1日

創立150周年記念式典も大成功！

ジャンボ学習発表会の後、子どもたちはおいしいお弁当を食べて、創立150周年記念式典に参加しました。今号は、式典特集号です。なお、前回同様、本号の写真もPTAの役員の皆様の撮影です。ありがとうございました。

まずは、大湊町小学校創立150周年記念事業 実行委員長の□□□□さん（後援会長 写真上）がごあいさつをされました。

「(前略) いつも心の底にあるのは、『人材を育てたい』との思いです。(中略) この 大湊の発展に尽くしていただきますようお願いいたします。(後略)」

□□□□実行委員長さんをはじめ、実行委員の皆様、昨年度からのご準備、本当にありがとうございました。

続いて、副実行委員長の□□□□さん（PTA会長 写真中）が事業報告をされました。20日（金）にお配りした要項の2頁目をご覧ください。

その後、ご臨席をいただきました37名ものご来賓の皆様を代表して、市長様（写真下）からご祝辞をいただきました。

午前中のジャンボ学習発表会の疲れが残る中、子どもたちは、口を閉じてよく話を聞いていました。

その後は、児童の活動紹介です。（写真は次頁ご覧ください）ステージのスクリーンに映し出された各学年の活動紹介のBGMは、各学年がジャンボ学習発表会で披露した合唱でした。子どもたちは、自分たちの学年の活動が映し出され、BGMが流れると、その歌と一緒に口ずさんでいました。また、中には、動きも付けて歌う子どもがいました。さらに、他学年の歌と一緒に歌う子どももいました。午前中の感動がよみがえってきて、実に幸せな時間、空間でした。



1年 スマイル学年



実現を目指して活動に取り組んでいます

2年 ひまわり学年



2年生は様々なことに挑戦し、

3年 にじいろ学年



大湯のよさを知り、

4年 あおば学年



4年生は、大湯の水を探る活動から

5年 きらきら学年



大湯のことをよく知り、
そのよさや課題を見付け、

6年 つばさ学年



6年生は、ふるさと大湯のために

また、150周年に向けた様々な取組も紹介されました。

右は、チーム「GSI」のメンバーです。グラウンドのスタンドのイラスト塗りのボランティアとして、休み時間返上で取り組んでくれた皆さんです。素敵な3種類のイラスト作成、ありがとうございました。

スタンドアート



G グラウンド
S スタンド
I イラスト
レーション

チーム「GSI」が活躍しました





↑ 活動紹介を温かいまなざしで見ると来賓



その後、「児童代表の言葉」として、6年生の□□□□さん（A）と□□□□さん（B）（写真右）が登壇して、以下の言葉を述べました。（自分たちで考えました）

B 私たちは、大湊町小学校の150歳をお祝いしようと、4月から自分たちで「150」…にちなんだ活動を考えてきました。

A 図書委員の私は、「おすすめの本150」を考えました。低・中・高学年それぞれにお勧めの本を50冊ずつ選んで紹介して、たくさん本を読んでもらっています。

B JRC委員会の私は、ペットボトルキャップを楽しくたくさん集めるために、キャップがちょうど150個入る箱を作り、各学級に配ってキャップを集めました。

A また、この大湊町のよさを学びながら、自分の生き方を考える「どんどの活動」で、私たち6年生は、「大湊の魅力再発見」をテーマに取り組んでいます。

B 私は、大湊町のイチジク商品を作っている「マルト」さんと一緒に、水と森公園で行われた「さんしょくフェスタ」で、イチジク商品を販売したり、チラシを配ったりして、大湊町の魅力をアピールしました。

地域の皆さんと交流する中で、大湊町の地域の皆さんの温かさを実感しました。

A さらに、私たちが安全に登下校するために、多くの方が“みまもり隊”として、私たちを見守ってくださっていることに感謝しています。私は、毎朝、6人の方々から見守っていただいています。6人の方々といさつをするとうれしい気持ちになります。

B そして、これから10年・20年が経ち、さらに50年後には…創立200周年。その頃、私たちは62歳です。

A 200周年の時も、この大湊町小学校が“幸せな学校”であり続けるために、私たちは地域の一員として、今の皆さんのように、大湊町小学校に通う子どもたちを温かく見守れる、立派な大人になりたいと思います。

B この創立150周年の今、6年生として大湊町小学校にいられたことは一生の思い出です。この小学校での生活を忘れません。



続いて、校長のあいさつです。



先日、ある子どもから、「学校で一番偉いのは、校長先生なんですよ」と言われました。私は、「違うよ。学校で一番偉いのは子どもたちだよ」と答えました。今、その理由をお話しします。例えば、校長の私がいなくなったとします。でも、代わりの校長が来るので、学校はなくなりません。でも、ここにいる子どもたちがいなくなったら、・・・学校はなくなってしまいます。以前、私が勤めた学校は、子どもの数が減ったので、学校を閉じてしまいました。ですから、学校で一番偉いのは、子どもたちなのです。

大湊町小学校ができた150年前の記録によると、当時は、学校に行きたくても、行けない子どもたちがたくさんいたそうです。その理由は、家の手伝いをしなければいけなかったからです。自分の好きな色や形のランドセルを背負って、学校で勉強したり、友だちと遊んだりすることは、150年前は当たり前ではなかったのです。

150年もの長い間、子どもが絶えずいて、ずっと学校が続いてきたことは“すごい！”ことです。ですから、今まで大湊町小学校に通ってきてくれた子どもたち、そして、それを支えてきてくださった保護者や地域の皆様にご感謝し、お祝いする式典を今、こうして行っています。



さて、話は代わります。皆さん、めあてを決めて、それを毎日続けていることはありますか？自分でめあてを決めて、新しいことにチャレンジすることは素晴らしいことです。でも、それを3日間、1週間、1か月間・・・と続けることは、とても難しいことです。でも、人は続けることで、大きく成長します。続けることを難しい言葉で「継続」と言います。ですから、昔から「継続は力なり」と言われています。

大湊町小学校みたいに「150年間続けてください」とは言いません。でも、自分で1つでよいので、「あれをしよう！」とめあてを決めて、何かをやり続けてみませんか？そうすれば、絶対に自分の力になります！ 今日、この150周年の記念式典で私が皆さんにお話したいことは、この「継続は力なり」ということです。

さて、来賓としてお越しいただき、ご祝辞を賜りました中川幹太市長様をはじめ、ご来賓の皆様、本日は誠にありがとうございました。また、本日、この式典を迎えるまで様々なご準備をしてくださった実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、学校の校歌の3番は、「♪平和の色に囲まれた」から始まります。今、世界では戦争が起こり、多くの方々が辛く、苦しく、悲しい思いをしています。「世界平和の第一歩は、隣の友だちと仲良くすること」です。相手が傷付く言葉は言いません。温かい言葉を使って、隣の友達と仲良くしましょう。5年生が歌った「マイ バラード」には、「♪きらめけ世界中に届け愛のメッセージ」という歌詞が、6年生が歌った「変わらないもの」には、「♪君がいたからがんばれた あなたにありがとう」という歌詞があります。みんなでこのような言葉を使っていけば、もっと「幸せな学校」になります。さらにそれが世界に広がれば、みんなが平和に幸せになります。



これまで大湊町小学校を見守ってくださった皆様にご感謝の気持ちをお伝えするとともに、みんなが平和で幸せに生活できることを切に願い、私のあいさつといたします。

最後は、校歌です。まさに、大合唱でした！歌声が体育館に響きました。



【来賓の方々の感想】大湊町小学校の子どもたちの歌声は素晴らしい！つい最近まで、コロナの影響で、各学校では大きな声で歌うことがあまりできなかったと聞いています。それなのにあの校歌の音量、そして、活動紹介の時の自然発生的に出た楽しそうな歌声。

一般的には、式典では、静かにしなければいけないのかもしれませんが、子どもらしいのびのびとした姿に感動しました。大湊町小学校は実に素晴らしい学校ですね！



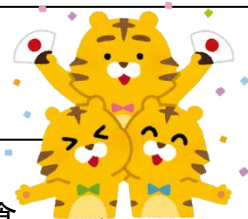
“150年”の中の“たった1日”でしたが、密度の濃い、充実した、思い出に残る1日となりました。

関係の皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

↑副実行委員長として、開・閉式の言葉を述べられた□□□さん（同窓会長・左）と、司会を務めてくださった実行委員の□□□□さん（同窓会副会長・右）



←前日の20日
（金）に味わった給食
【創立150周年記念献立】
・セルフのたれかつ丼
・海苔酢あえ
・心の味噌汁
・いちごゼリー





図書委員会：おすすめ本150



←6年生：少なくとも10年前から中庭にあったガラクタを6年生が旧田んぼに集め、何日もかけて埋め立ててくれました。

↓JRC委員会：150ペットボトルキャップ回収



150周年記念式典が終わっても続く150年を祝う取組（環境委員会）

